

近畿地方整備局
資 料 配 付

配布日時	平成13年2月15日 14:00
------	---------------------

件 名	梅田ターミナル地区移動支援実験 モニター実験の実施について ITS(高度道路交通システム)の構成要素の1つである歩行者ITSの社会実験を大阪梅田地区の地下街で実施するものです。実験は、地下街において目的地までのルートを、健常者には最短ルート、車椅子の方にはバリアフリールートのように、個々の歩行者に応じたルートを検索して案内します。 また、携帯情報端末を携行することにより、地図・文字・音声で歩行者を目的地まで案内するものです。 ・発表場所：大阪梅田地区地下街 (実験現地本部：国道2号曾根崎地下歩道内) ・発表日時：平成13年2月19日9時30分
-----	---

取 扱 方 法	
---------	--

配 布 場 所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 大阪市政記者クラブ
---------	---

問 合 せ 先	近畿地方整備局 道路部 交通対策課 課長補佐 田中 貢 TEL (06-6942-1141(代 表) 06-6945-9107(夜間直通) 大阪市計画調整局計画部 企画主幹 松野 幹雄 TEL 06-6208-7875 企画主幹 古川 博司 TEL 06-6208-7873
---------	---

バリアフリー経路案内等の歩行者支援に関するITS実験

1. 目的

現在、国土交通省において歩行者ITSの技術を全国から公募し、歩行者ITS技術の標準化の検討を実施しています。今回の実験は、具体的な場所で歩行者ITSとしてどのようなサービスが提供でき、また、歩行者がどのようなサービスを求めているかを実験するもので、実験結果は標準技術の策定作業に反映させていくものです。

2. 概要

当実験は、7つの鉄道駅が集中している大阪駅周辺地下街を中心に、歩行者ITSの一環として経路案内を中心とした歩行者支援に関する社会実験を実施するものです。この実験は、地下街におけるバリアフリーを考慮した経路案内システムの実験を行うものです。

3. 場所

大阪駅周辺地下街を中心としたエリア

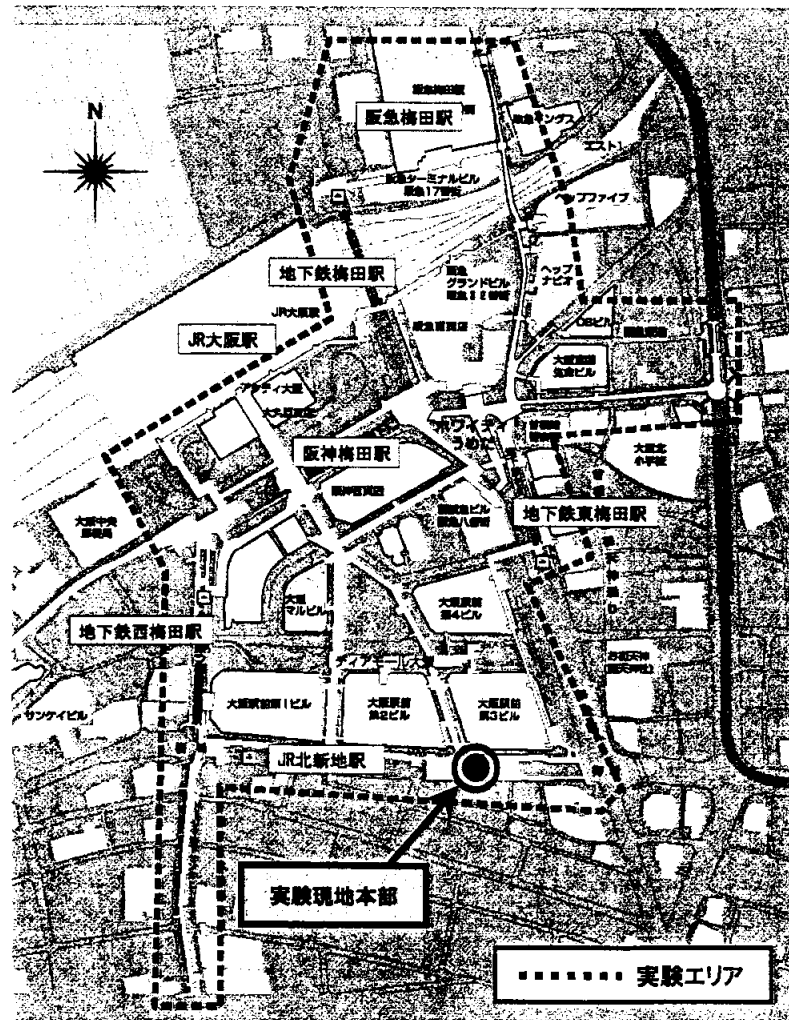


図 実験エリア

4. 実施期間

平成 13 年 2 月 19 日～3 月 20 日の内、17 日間

表 実施日程

特定日	2月										3月															
	19	20			23	24	25	26			2	3	4		7	8	9		12			16	17		19	20
	月	火			金	土	日	月			金	土	日		水	木	金		月			金	土		月	火
午 前	○	○			○	○	○	○			○	○	○		○							○	○		○	○
午 後	○	○			○	○	○	○			○	○	○		○	○	○		○			○	○		○	○
夜																○	○		○							

注) 午前: 10～12 時 午後: 14～16 時 夜: 18～20 時

5. 対象者

歩行者(移動困難者を含む)

①携帯情報端末(以下、PDA)利用のモニターは次の方法により募集

○2月1日から公募によりモニターの一般募集を受付け中

・インターネット、駅・地下街等でポスター、チラシにより募集中

・インターネットアドレス <http://www.umedaits.com>

・国土交通省大阪国道工事事務所、大阪市のホームページからもアクセスできます。

・受付締め切りは各実験日の1週間前です(最終締め切り3月13日)

○身障者団体等へのモニター依頼も行っています。

○モニターの人数

・30人/日程度

②固定情報端末(以下、情報キオスク)は、一般歩行者も随時、利用可能

○情報キオスクは地下街の3箇所に設置

<情報キオスク利用可能時間>

・ホワイティうめだ案内所 午前9時～午後8時(3月15日休み)

・ディアモール広場 午前9時～午後8時

・みちまちスクエア 午前10時～午後7時(水曜休み)

5-1. PDAによる経路案内

地下街の交差部等に設置した電波タグによる位置確認を行いながら、歩行者を出発地から目的地まで経路案内

1) 自己位置の把握

- ① 地下街は自動車ナビゲーションなどで利用しているGPSが利用できないので、本実験では、ITS技術の1つとして電波タグの活用により、自己位置確認を行います。
- ② 電波タグは交差部、階段付近、改札口等、経路案内上の重要地点を中心に設置（全74カ所）

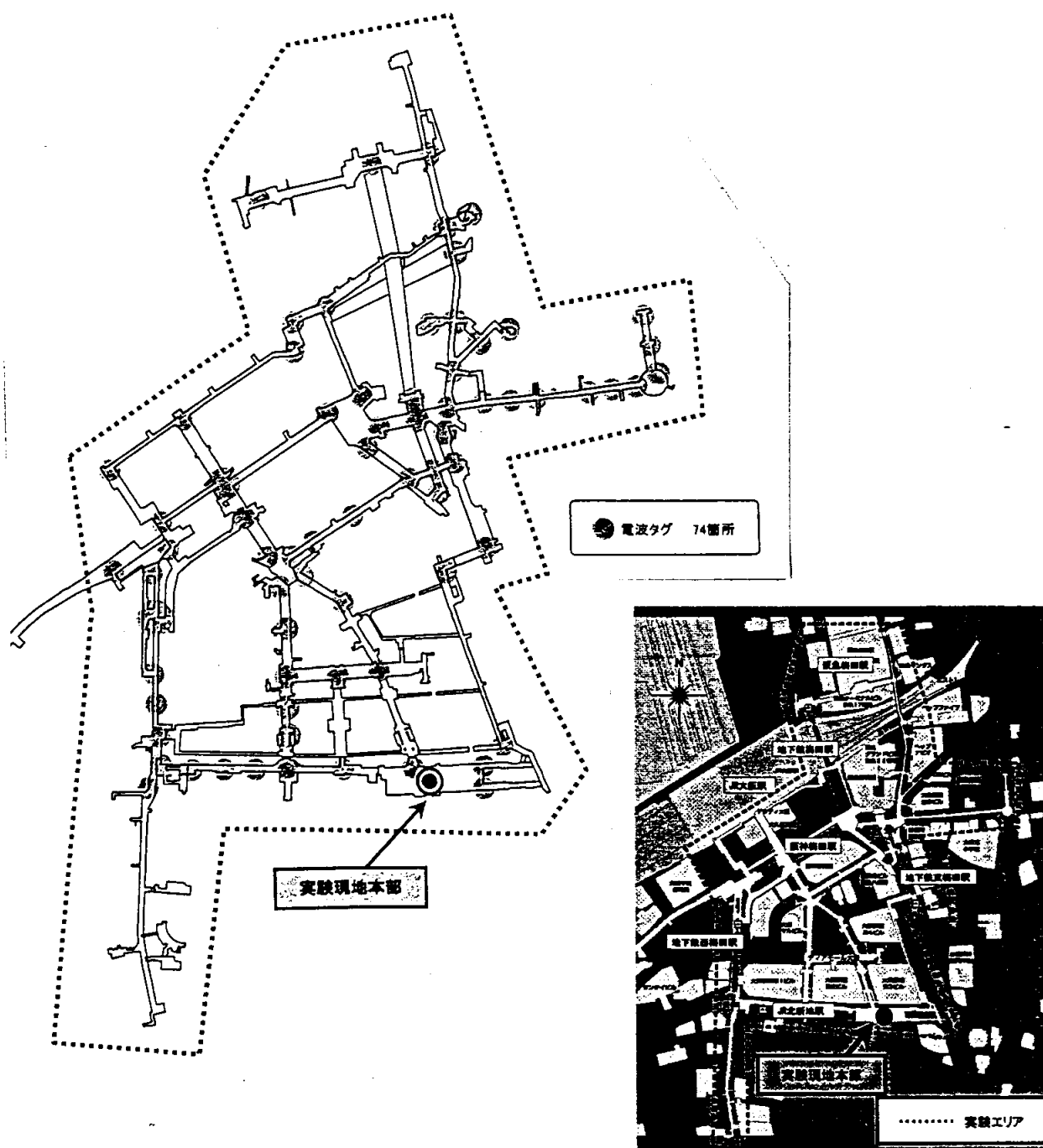


図 電波タグ設置位置

2) 経路案内

①案内パターン

地下街には階段など車椅子利用者等の移動が困難な箇所があり、目的地までの移動経路の選定に苦労するところがあります。本実験では、出発地から目的地まで歩行者の特性に応じた移動可能なルートを検索し、経路案内を行います。

選定する経路は次の4種類です。

- 上下移動には階段やエスカレーターは利用せず、エレベーターだけを利用
- 上下移動には階段は利用せず、エスカレーターとエレベーターを利用する
- 遠回りになるのであれば、ある程度までの段数の階段は利用する。
- 階段を気にせず、最も距離の短い経路を選択する。

②情報提供方法

地図・文字・音声で情報提供し、経路案内をします。

○案内

○案内ルート: 出発地～目的地間の案内ルートをPDA画面上で着色表示

・目的地: 駅改札口、トイレ、店舗・施設 等

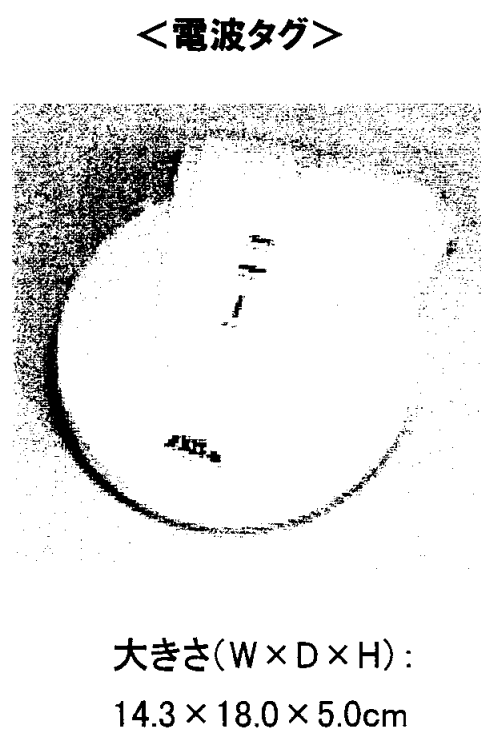
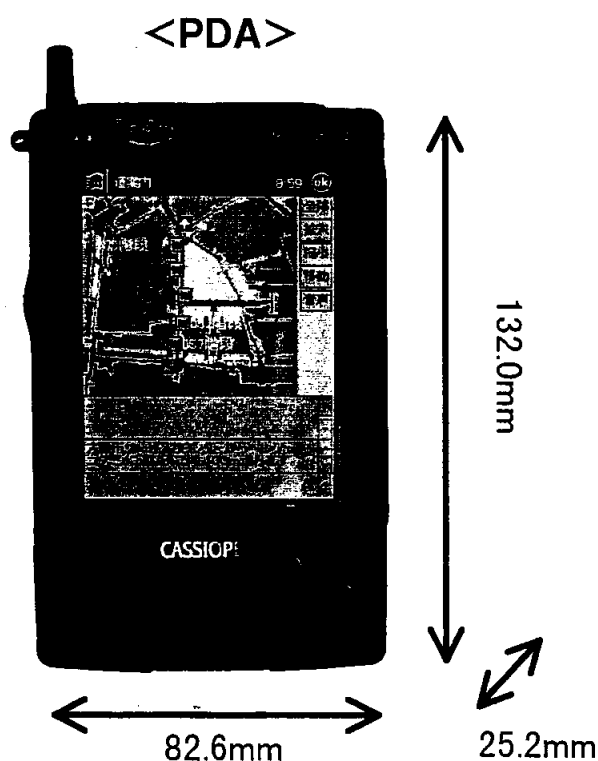
○現在地表示

・電波タグを利用して位置を確認し、画面上に現在地を表示

○目印となる店舗・施設等をPDA画面上に表示

○なお、地図は拡大・縮小可能で、上下・左右へのスクロールもできます。

○タグの近傍を通過毎に、画面の地図の下に目標物と進路(直進、右・左折)を文字で表示し、文字情報と同様の情報を音声情報でも提供する。



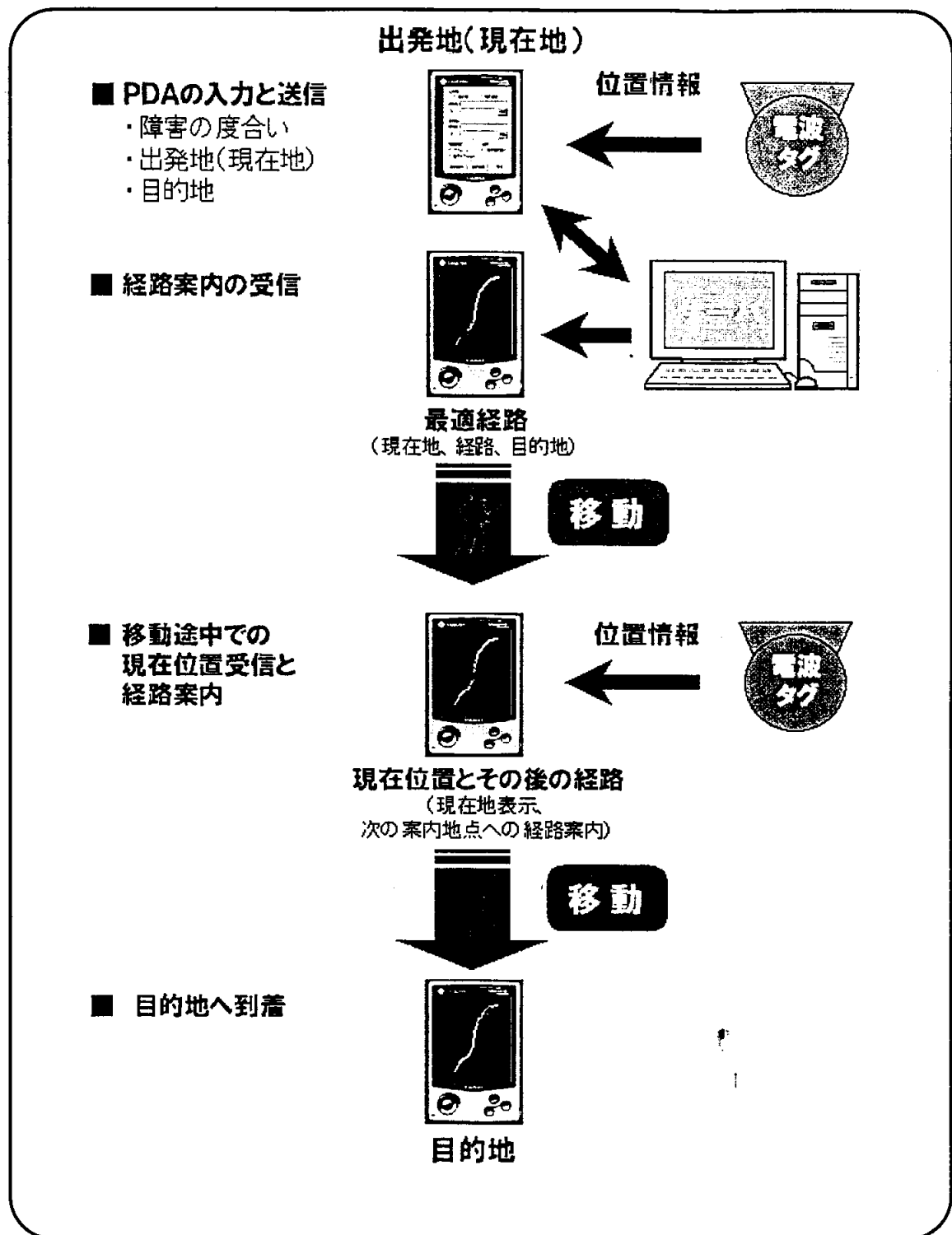


図 システムの概要

5-2. 情報キオスクによる経路案内

出発地から目的地までの案内経路情報を提供

○画面地図に次の項目を表示

- ・案内検索ルート: 出発地～目的地間の案内ルートを着色表示
- ・目的地: 駅改札口、トイレ、店舗・施設 等
- ・目印となる店舗・施設等の表示

○案内ルートを表示した地図は印刷して、携帯することができます。

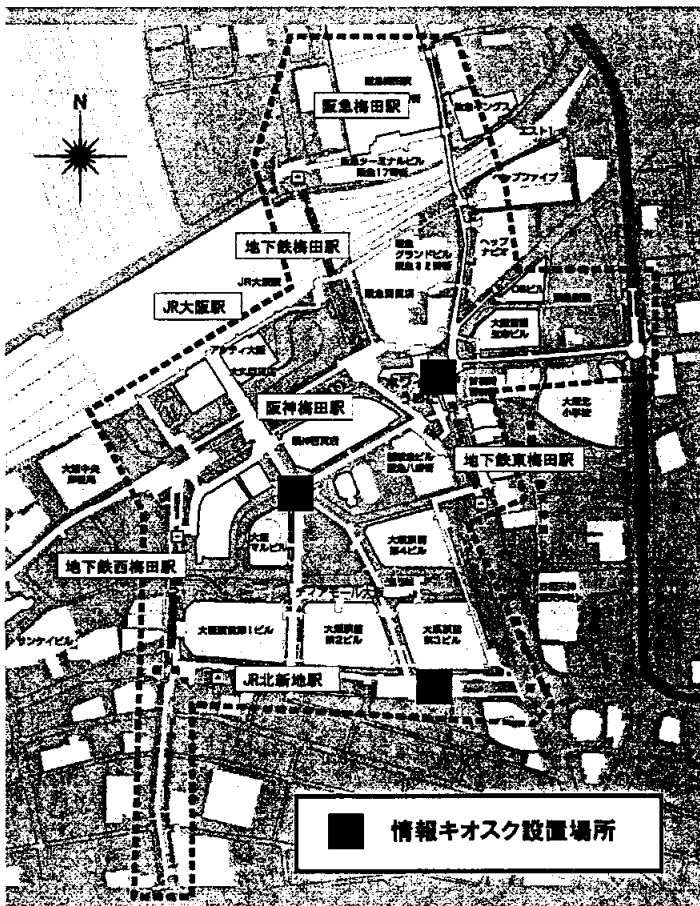


図 情報キオスク設置場所



<情報キオスク>

大きさ(W×D×H):
50.0×50.0×150.0cm

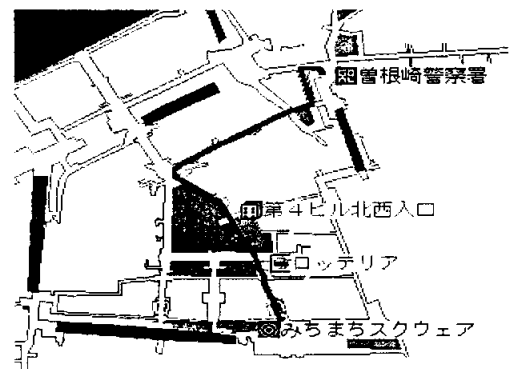


図 検索例

6. 実験効果、問題点、今後の改良方向等の把握調査

次の2種類の調査により実験の効果、課題、今後の改良方向等を把握

1) 追跡調査

PDAモニターの(内、一部の人)に調査員が同行して、実際に機器を使用している現場で、利用状況を確認するとともに、移動終了時点でヒヤリングを実施し、情報提供の有効性、問題点、今後の改良方法等を把握する。

2) アンケート調査(PDAモニター対象)

歩行終了後にモニターにアンケート調査を実施することにより、提供情報の有効性、問題点、今後の改良方向等を把握します。

7. その他

1) 実験期間中に、可能な範囲でモニターの意見等に基づきシステムの改善を実施します。

2) 本実験は、国土交通省近畿地方整備局と大阪市が共同して実施します。

3) 大阪市は移動支援実験として次の2つの実験についても実施しています。

① バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験

② 駐車場の情報提供・予約実験

大阪市計画調整局計画部

企画主幹 松野 幹雄 06-6208-7875

企画主幹 古川 博司 06-6208-7873

4) 実験開始日の2月19日(月)午前10時からのモニター実験に先立ち、9時半から現地で事前説明を行います。

現地本部は、JR北新地駅の西側にある曾根崎地下歩道内に設置しています。

○ 曾根崎地下歩道内(梅新交差点西側地下2階、JR北新地駅西側)

当日(2月 19 日)のスケジュールは次のとおりです。ただし、スケジュールは目安であり、多少、前後する場合がありますがご容赦願います。

2月 19 日スケジュール(予定)

～9時 30 分	取材受付
9時 30 分 ～9時 50 分	報道関係者に対する説明
9時 50 分 ～10 時 00 分	モニター受付
10 時 00 分～10 時 30 分	モニターに対する説明
10 時 30 分～12 時 00 分	モニター実験

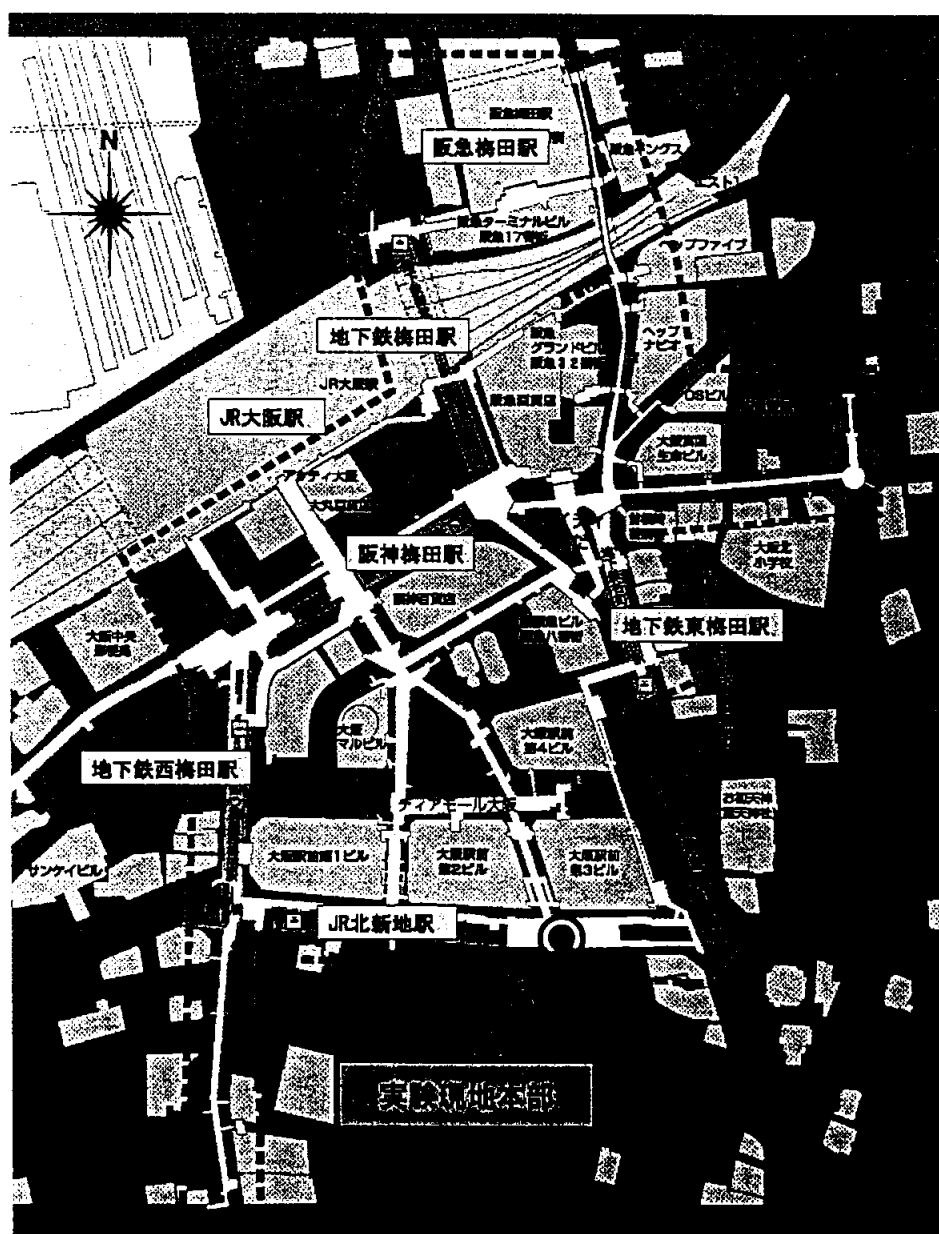
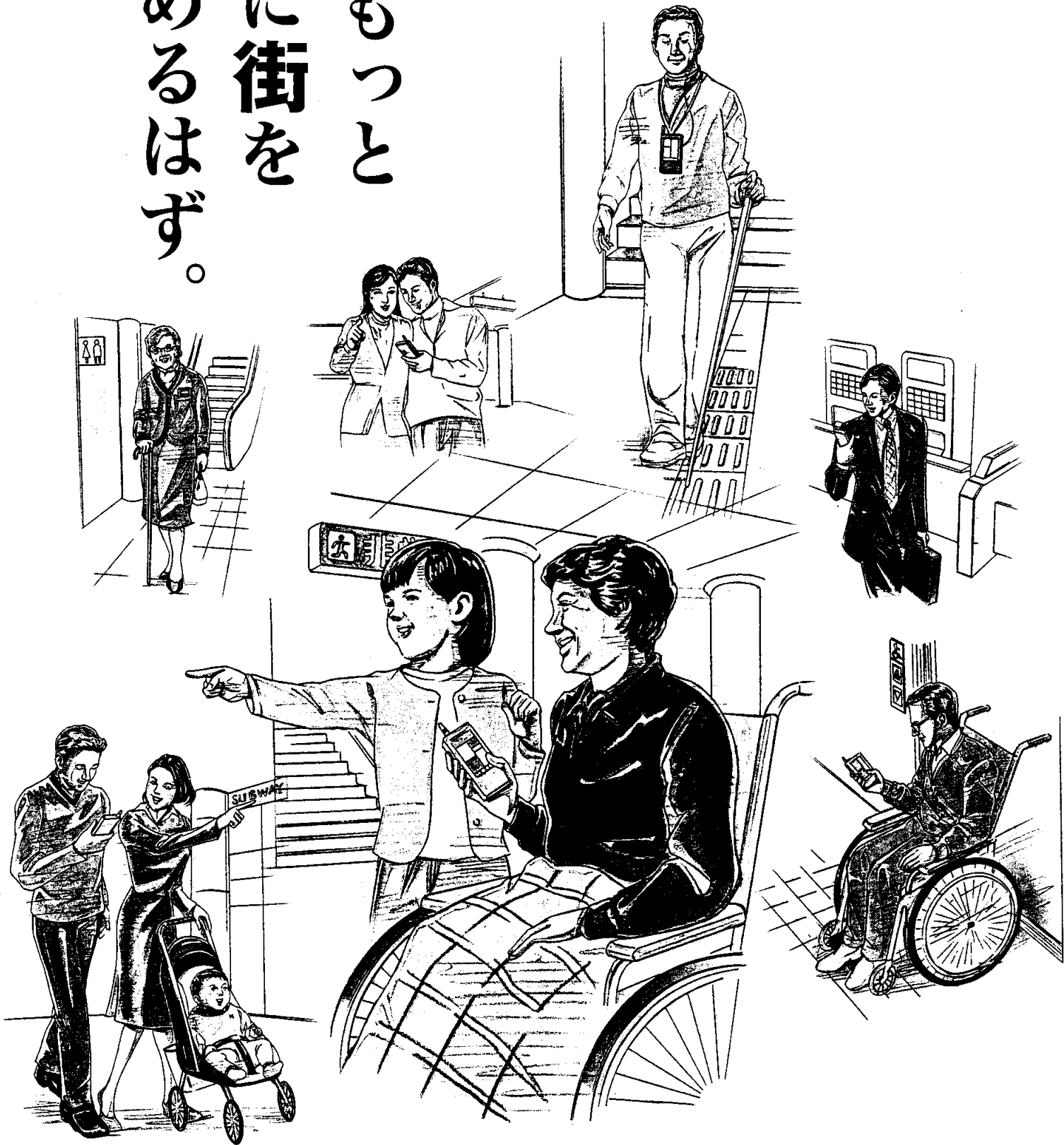


図 現地本部位置図

梅田ターミナル地区
歩行者支援実験

人はもっと
自由に街を
楽しめるはず。



国土交通省近畿地方整備局
大阪市

地下街を、より自由で楽しい空間にするために…

「今、自分はどこにいるんだろう?」、

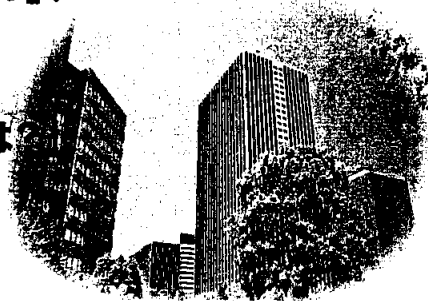
「目的地まで段差のない

経路はどれだろう?」、

「エレベーターで地上に出るには?

地下街でこのようなことを

思ったことはありませんか?



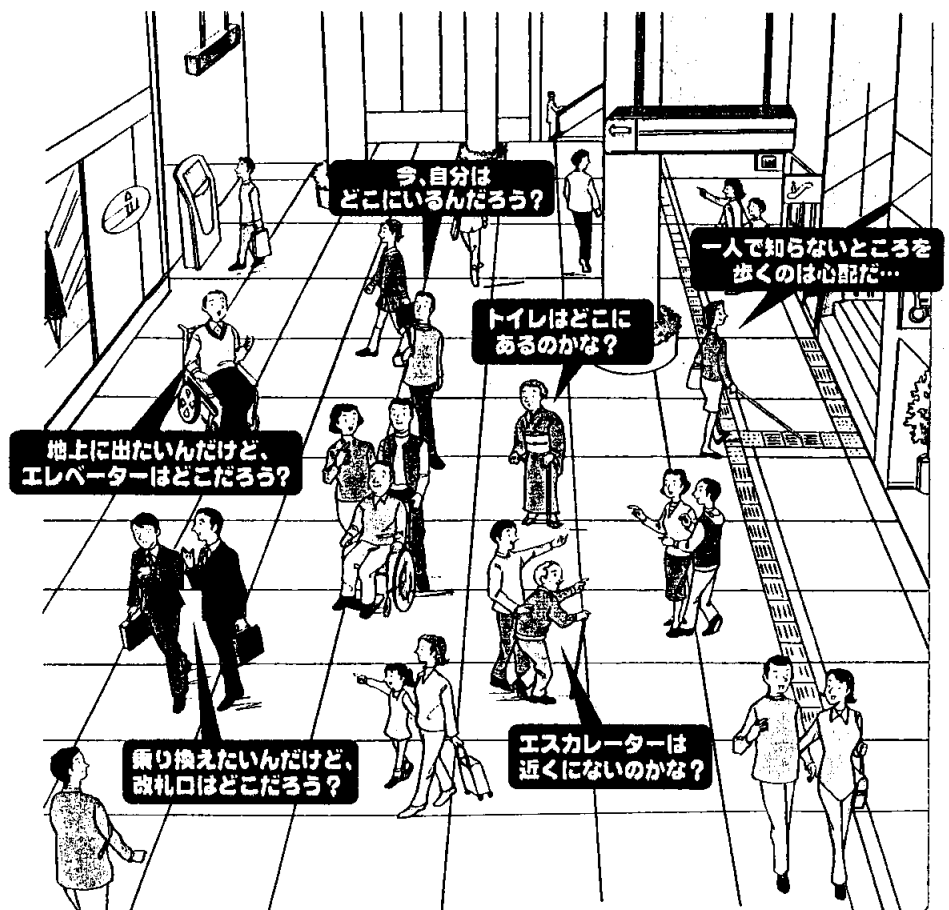
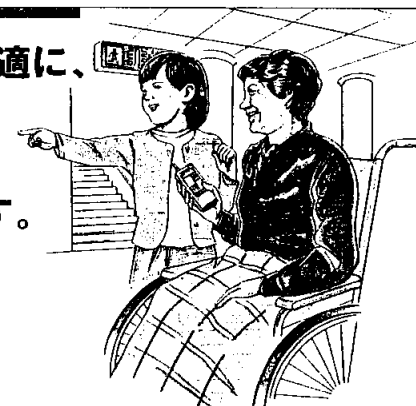
利用者にとってもっと便利で快適に、

そして安全に地下街を

楽しんでいただきたい。

そのために社会実験を行います。

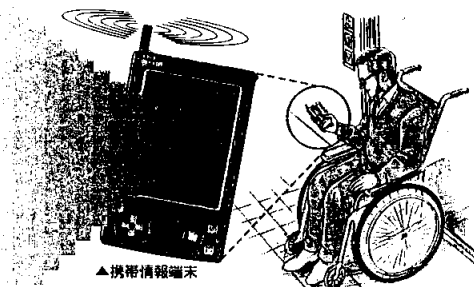
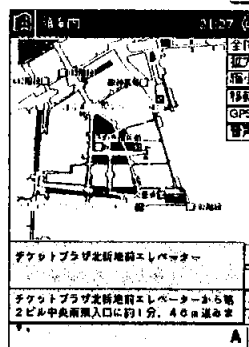
高齢者や身体障害者をはじめ、初めて訪れた人にも便利で快適に、そして安全に地下街を楽しんでいただくために社会実験を行い、歩行者ITSのサービス内容の一部を紹介するとともに、街の中や地下街にあるさまざまな問題を解消するための可能性と方向性を見出していきます。



歩行者支援実験の支援内容

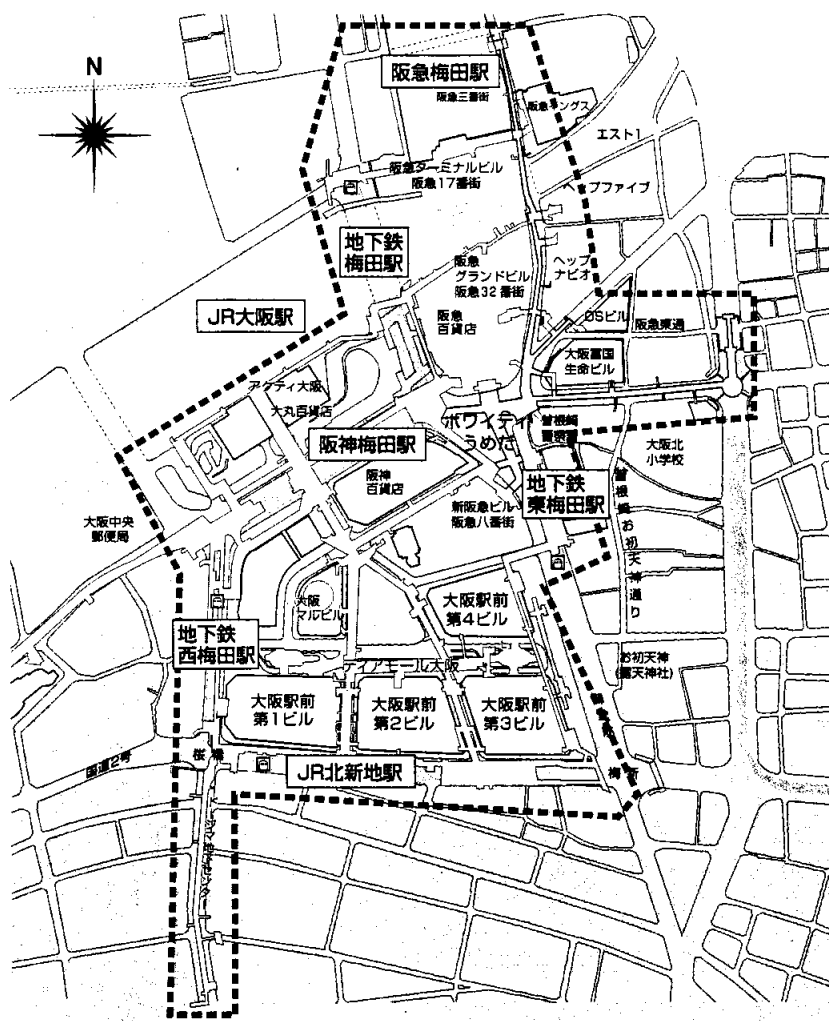
実験の内容

- 現在地表示
 - ・今自分がどこにいるのか、リアルタイムな現在地を携帯情報端末画面上に表示します。
- 経路案内
 - ・目的地を入力することにより、現在地から目的地までの経路を案内します。
 - ・車いす利用者や階段の利用が困難な方など、個人にあわせた経路を案内します。
 - 例) 健康者: 最短経路を案内
車いす利用者: 階段・段差のない経路を案内
 - ・現在地情報や進むべき方向を地図だけでなく、文字と音声で提供します。
- 情報提供
 - ・障害者用トイレやエレベーターのある改札などバリアフリーに関する情報や店舗情報を提供します。



▲携帯情報端末画面例





実験エリア

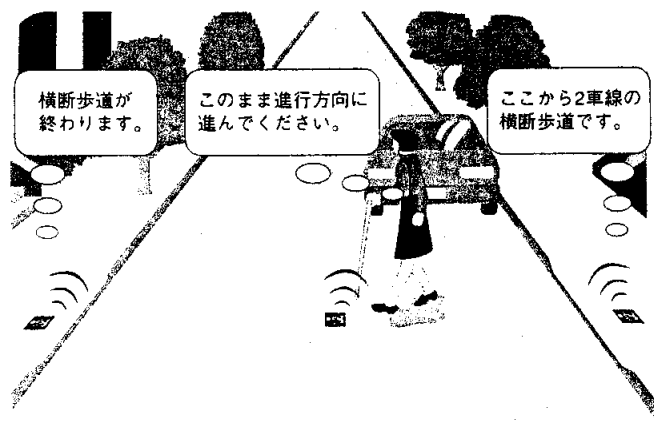
梅田ターミナル地区は、7つの鉄道駅やバスターミナルが集中しており、鉄道だけで一日に延べ260万の人が利用する西日本最大のターミナルです。また、これらの駅や周辺のホテル・商業施設などを連絡するかたちで大きく地下街が発達しており、駅を利用する人の歩行空間として、また、買い物や食事をを楽しむ憩いの場として、非常に多くの人に利用されています。



歩行者ITSとは…

ITS（高度道路交通システム：Intelligent Transport Systems）とは、交通事故や交通渋滞といった諸問題を、情報通信技術やエレクトロニクス技術等により、安全・快適にして環境に優しい交通社会の実現を目指す新しい道路交通システムです。

ITSのひとつである歩行者ITSは、歩行者、車いす利用者などに、安全・快適・利便を提供する道路システムです。



●実験に関するお問い合わせは

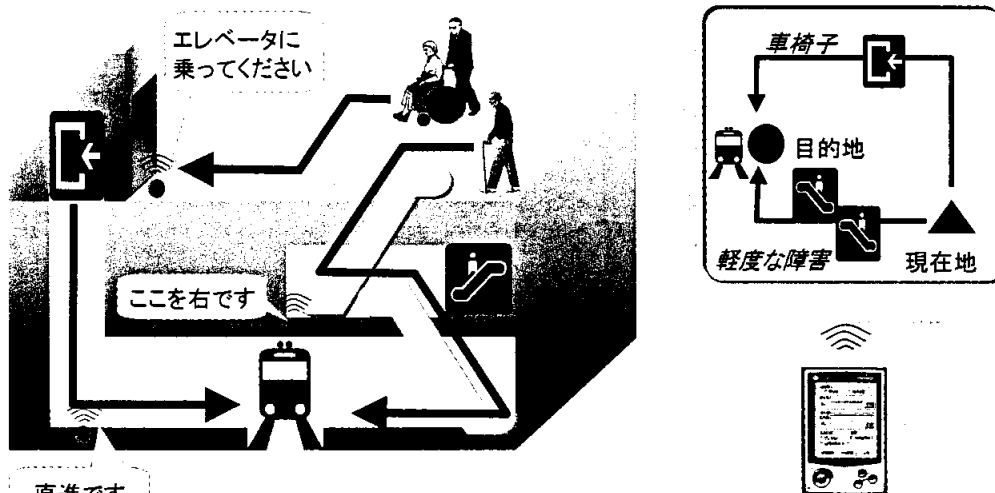
国土交通省近畿地方整備局道路部交通対策課 TEL06-6942-1141(代表)
大阪市計画調整局計画部交通空港政策課 TEL06-6208-7843

人はもつと
自由に街を
楽しめるはず。



The map illustrates the urban layout around Shinjuku Station. It highlights the 'Shinjuku Experiment Area' (実験エリア) which includes the 'Shinjuku East Station' (新宿東駅) and the 'Shinjuku West Station' (新宿西駅). Various commercial buildings and streets are labeled, providing a comprehensive view of the local environment.

1. バリアフリー経路案内等の歩行者支援実験

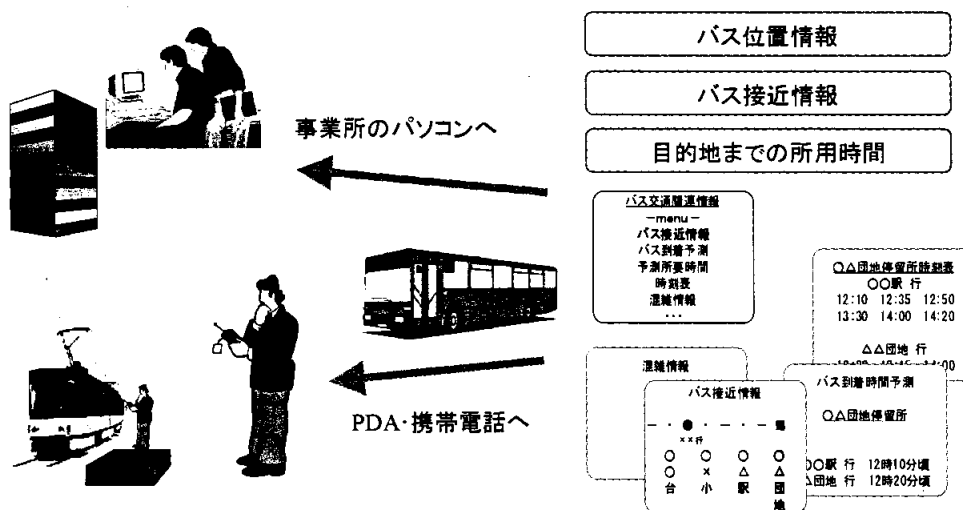


- 現在地から駅の改札口、トイレなどの目的地までの経路案内を行います。
- 利用者の条件に応じた経路案内を行います。
例) 健常者: 最短経路を案内
車いす利用者: 階段、段差のない経路を案内
- 経路案内にはPDA(携帯情報端末)を用います。

現在情報や進むべき方向を概略な地図だけでなく、文字と音声で提供します。

モニター募集

2. バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験

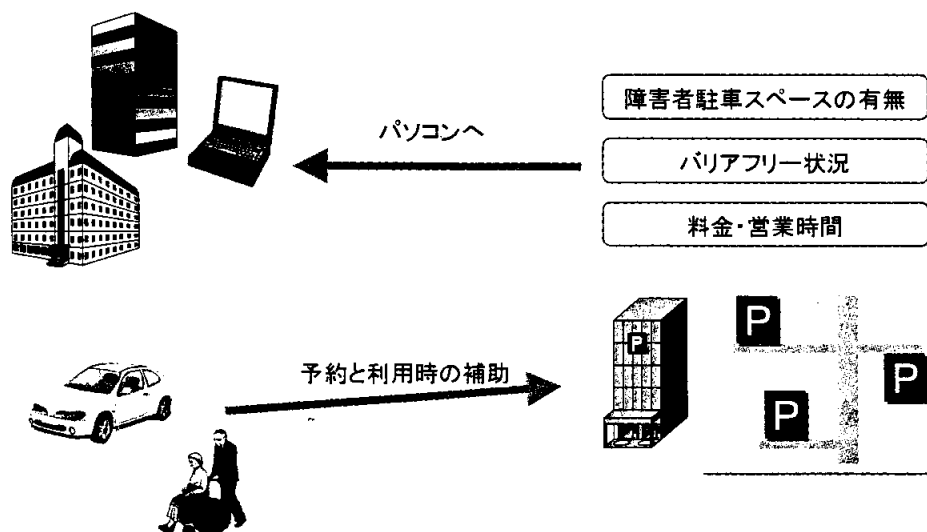


- 大阪駅前を発着する4方面、7系統の路線バスのリアルタイムな運行情報(バス位置、接近情報、所要時間、リフト付きバスやノンステップバスなどのバスの種類等)をPDAや携帯電話、パソコンを通じて利用者に提供します。
- PDAやパソコン利用のモニターに対しては、接近情報等を音声等によりアクティブに提供します。

個人モニター募集

事業所モニター募集

3. 駐車場の情報提供、予約実験



- 駐車場の情報提供
梅田地区の一時預かり駐車場(24カ所)の情報(位置、営業時間、料金等のほか、車いす利用の際のバリアフリー情報等)をインターネットホームページにより提供します。
- 駐車場の予約
大阪駅前駐車場、桜橋駐車場では、車いす利用者等を対象に、障害者用スペースの予約や駐車に伴う各行程での補助等のニーズをあらかじめ受け付け、駐車場利用の利便性を高めます。